

# 御神鏡と研磨

～ 諏訪・八劔神社への銅鏡奉納にまつわる話題 ～

古代の青銅鏡からはじまる鏡は、姿を映す道具のみならず、太陽の光の恵み、人の心、あるいは人々の祈りや思想をも映してきたと言えます。その中で御神鏡とは、神社における御神体であり、五穀豊穡を祈る主体や象徴として、今日まで受け継がれています。このたび、諏訪市の八劔神社では、神鏡としての銅鏡が製作され祀られました。八劔神社は、諏訪湖の御神渡り神事を司る神社です。そこで本研究会では、奉納された銅鏡の製作にまつわる話を関係された皆様から伺い、それぞれが鏡に込めた思いを考えてみたいと思います。

主催：公益社団法人精密工学会 生産原論専門委員会

互換共催：公益社団法人砥粒加工学会次世代固定砥粒加工プロセス  
専門委員会

後援：諏訪市

日時：2023年6月1日(木) 13:30～17:00

会場：駅前交流テラスすわっチャオ 3F 会議室

最寄り駅：JR 中央本線上諏訪駅（会場は東口すぐ）

※オンライン参加も可能です。



13:30～13:35	開会挨拶	生産技術史部会主査 日本工業大学教授 神 雅彦 氏
13:35～13:40	来賓挨拶	諏訪市長 金子 ゆかり 氏
13:40～14:40	講演1 八劔神社の由来と御神渡り神事および御神鏡とは	八劔神社宮司 宮坂 清 氏
14:40～15:15	講演2 青銅鏡の磨きに関する調査研究	埼玉大学教授 池野 順一 氏
15:15～15:30	<休憩>	
15:30～16:15	講演3 松一における鏡面研磨技術	株式会社松一代表取締役 松澤 正明 氏
16:15～16:55	講演4 八劔神社に奉納した銅鏡の製作	不二越機械工業株式会社課長 宮下 忠一 氏
16:55～17:00	閉会挨拶・事務連絡	委員長 池野 順一 氏

## 参加費

・研究会：当専門委員会会員：無料，共催団体：無料，互換共催団体：無料，非会員：5,000円  
※オンライン参加の場合はPC接続数に限りがありますので専門委員会事務局（永野善己）にお問い合わせ下さい。（注）「会員」とは専門委員会会員を指します。学会員ではございませんのでご注意ください。

申込締切日：2023年5月26日(金)

（注）当日キャンセルの非会員には、すでに準備に費用がかかっているため参加費を請求致します。

問合せ/申込先：当専門委員会事務局 永野善己宛

・FAX 0285-31-1788 e-mail nagano.yoshiki@oyama-pc.ac.jp